

熱心にききいる村当局

道路公園の整備 労働者福祉の向上を

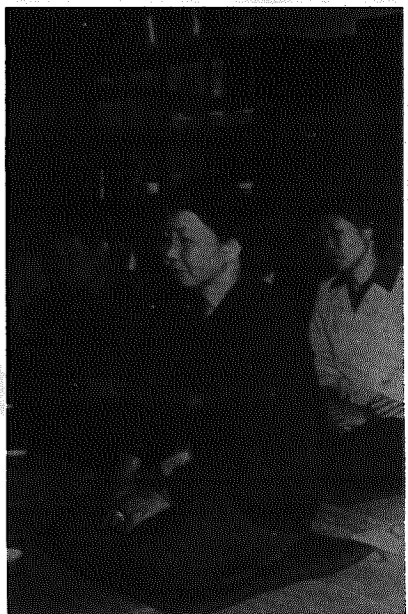
村では、五十六年度予算編成期を前に、村民との対話の中から行政施策を見出し、村民の声を反映した村行政を進めていこうと昨年度に続いて「村政懇談会」を十月十九日から沢海会場をかわきりに村内六会場で開催しました。

この懇談会で、村からは渋谷村長をはじめ、助役、収入役、教育長、各課長が出席し、村長から五十五年度村事業の実施状況と予算について説明があったあと、懇談会に入りました。

この懇談会に出席した村民は、六会場で延八四名と、この会場とも多くはなかったが、各層、各層の方から道路整備、公園整備、労働者福祉、役場建設位置、行政サービスなどについて質問、意見、要望がつきつぎと出され、熱心な懇談会が各会場ごとで開催されました。それらのおもな内容と、村の考え方について集約して紹介します。

婦人の人達も熱心に耳をかたむけている

小杉 会場



横越会場 労信協のPRを 農林水産業費の補助金見直しを

1. 農林水産業、商工業関係の補助金に疑問があるものが沢山ある。一連の補助金を見直す考えはないか。

村：財政効率からいって整理を要するものもある。補助金には、国庫の事業を導入した場合の経費や、それらに村がつけた経費、村単独で補助するものなど、事業補助と団体補助がある。その事業の成果をあげる目的で補助しているものがあり、村で出来ないものを団体がやっているものなどがあり、一概に整理できない。

2. 給与連がかねてから要望していた、未組織労働者の融資制度(労信協)加入による

具体的内容の周知が一度もなされていないが、機構改革で労働者行政を担当する課が明確化されたが、具体的な対策はあるか。

村：労信協のPRを早急に行いたい。労働者福祉政策の具体的なものは、いまのところないが今年度は、旧横小跡地に通勤者の自転車小屋を建設した。

このほか、下水道工事にもなり家庭便所改良費の補助を、団地内の公園等の村移管を、水田再編事業が強まる中で、学校農園や、家庭菜園に提供できないかなどの意見、要望が出されました。

村政をめざして

懇談会 村内6会場で開催

沢海会場 七尺道路の改良 舗装の早期実施を

1. 細小路、七尺道、堤防下道路等の改良及び舗装を。

村：実情を把握したうえで内容等を検討したいが、村の道路改良計画及び、村の改良基準、考え方があるので全体計画をふまえ検討したい。

2. 博物館の外堀を天然防火用水に出来ないか。消火栓の管が小さく(75%)水量が不足しているので改良を。

村：本村の消火栓は水道管から取っている。水道は飲料水の給水が本来の姿であり、消火栓100%でないといけないことになっているが、地域の要望でやむなく75%にした。今後の課題として改善の方向にすすめていきたい。

3. モデル事業で沢海地区に改善センターの建設が予定されているがいつごろはじめるのか施設の内容、土地の利用はどうなっているのか。

村：今計画の段階であり、協議設計をしている。基本的には農村生活改善の拠点施設であり、分館を併設する総面積千五百平方メートル(鉄筋二階建)「ママさんバレー」が出来る体育館(五〇〇平方メートル)の外、生活研修室、洋、和室、料理実習室、児童室、加工室、老人休憩室、浴室、(大・小)等々で、着工は五十六年度のお盆ごろから二カ年かけて建設し、駐車場、緑地帯も考えている。このほかマイクロスパス購入を。沢海下地内でひんぱんにおきている交通事故対策を。などの要望、意見が出されました。

対話の村政

木津会場 部落内道路の改良舗装を 幼児の全入保育を

1. 木津部落内道路の舗装を。

村：年次計画的に改良舗装をやっているが、出来るだけ要望を入れながら計画的にやっていきたい。

2. 農村公園の早期実現を。

村：面積、資金のめどがつけば次年度の計画として考えていきたい。

3. 分館体育館の修理はどのようになっているか。

村：今年度中に実施し、この文化祭が終わったら工事に入る予定にしている。

4. 分館の道路除雪をやっているか。

村：どの地区でも区長さんのなりてがないのが実情と考えますが、横越中や、沢海地区では、部門制を設け、区長さんの負担軽減をはかる中で住民のいろいろな問題解決をはかっている。二本木地区についても、都市化の傾向が進んできたので、新しい自治組織を検討してもよいのではないか。

3. 二本木地区は市街化区域であるが、公共施設が全然ない。そこで市街化区域の線引

二本木会場 二本木地区に公共施設を 鶴ヶ島にもう一面野球場を

1. 横越村では野球人口が増えていて、施設が少なく、木津・二本木でも一二チームもある。鶴ヶ島にもう一面グラウンドを設置してほしい。

村：以前から話しがあったので、建設省と話しをして借りたい動きもあると聞いているが、その後取り下げたと聞いているのもう一面は出来ると思う。

2. 区長になっていただけの人がいなくて困っている、何か原因があると思うが他の地区はどうしているか。

村：どの地区でも区長さんのなりてがないのが実情と考えますが、横越中や、沢海地区では、部門制を設け、区長さんの負担軽減をはかる中で住民のいろいろな問題解決をはかっている。二本木地区についても、都市化の傾向が進んできたので、新しい自治組織を検討してもよいのではないか。

3. 二本木地区は市街化区域であるが、公共施設が全然ない。そこで市街化区域の線引

小杉会場 農村公園の早期実現を 小杉地内の排水対策等は

1. 農村環境整備モデル事業で、小学校跡地に農村公園を計画しているが、その後どのように計画されているか。

村：農村公園を学校跡地に二千平方メートル以上のものを計画しているが、小杉地区は公園より環境整備を重点にこれから考えていきたい。

2. 小杉地区は、排水対策が非常に遅れている。今後の計画について詳しく説明されたか。

村：小杉地区の排水対策は旧阿賀用水と密接な関連があり、旧阿賀用水改修計画に合わせて、年次計画ですすめてい

3. 機構改革があつてから住民サービスが悪くなったが、今でも一般からその不満がある。それらについてどう考えているか。

村：機構改革により、大市に事務内容の変更、人事異動があつたので一時的な事務低下があつたと考える。これも時間がたつにつれて解消されると考えている。

このほか、部落内道路の舗装を。大阿賀橋の関係はどうなっているか。農道の整備舗装を。通学道路の防犯灯の設置を。などの意見、要望が出されました。

藤駒会場 防犯灯の設置を 赤道の改良計画はどのように

1. 藤山、小杉間の防犯灯設置を五十六年度に計画して

と聞くが、駒込農道に防犯灯をつけた方がより効果があ



出席した人数は少なかつたが熱心な懇談会で意見要望も多く出された沢海会場